

議場設備更新工事の概要

①議場システム（マイク・カメラ）更新

目的 ワークステーションPC及び老朽化したマイク・カメラの更新

②資料表示機能の追加

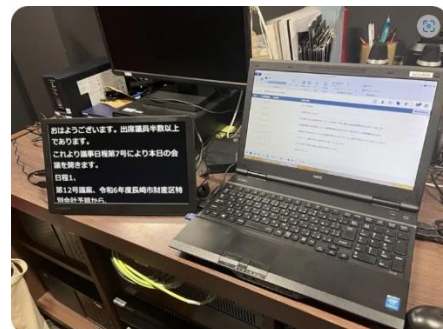
目的 市民に分かりやすい議会運営の実現

- ・本会議場のモニターに説明資料を表示できるようにシステムを改修する。
- ・ライブ中継、録画中継においても資料表示ができることが望ましい。
- ・操作は議会事務局職員が放送室にて行う。

③字幕表示モニターの設置（モニター（24型程度）：2台）

目的 ろう・難聴者や高齢者でも不自由なく参加できるような「開かれた議会」の推進

- ・音声認識システム（アミボイス）を活用することで、議会での発言を文字起こし（テキスト化）し、その内容を傍聴席のモニターなどにリアルタイムで表示することが可能。高齢者やろう・難聴者、発言を聞き逃してしまったという時にもモニターでテキストとして確認できる。
- ・議場の傍聴席の両端にモニターを設置する。
- ・将来的に、ライブ中継や録画配信にも字幕表示ができるような体制も整備する。



【参考】長崎市（アミボイスを活用した例）